

神戸製菓専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【平成30年7月1日 実施】

平成29年度自己点検自己評価(平成29年4月1日～平成30年3月31日)による

評価委員集計

項目	点検項目	評価		自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1				出席委員集計(平均点数) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1		
1 教育理念・目的・ 育成人材像	1-1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4		学校運営にあたり、大切にしていることが、ミッションと教育理念です。これを基に、毎年12月に事業計画を作成しています。事業計画の中の組織目的、運営方針、実行方針、実行計画が学校の成長につながっています。	『キャリア教育』についても、今までの人間教育を更に発展させるべく、教職員に研修の機会を設け、学生それぞれが、『キャリア設計』を実現できるよう取り組んでいます。	4		・アドミッション・カリキュラム・ディプロマの3つポリシーを明確に策定しており、キャリア教育・形成を実現させるためのプログラムも整備されている。
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか							
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか							
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか							
2 学校運営	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4		毎年、事業計画・運営方針を作成しています。業界のニーズや環境の変化に対応した計画内容を作成し、明文化された事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての教職員が理解した上で各業務に取り組んでいます。	各セクションにおいて、事業計画、運営方針の策定段階で協議を深め、現状把握と今後の方向性の情報共有を図っています。	4		・理念に沿った事業計画・運営方針が策定されており、計画的な組織・学校運営が実践されている。 ・IT化が進み、学生や卒業生へのサービスやサポート体制が整備されていることに感服します。
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	4		計画を具体化していくためにはその計画が構成メンバーに周知され、理解されているかが重要なポイントとなるので、全教職員が学校運営に携わる環境作りを目指している。このことが、学校・学科の教育成果に繋がると考えています。	組織的に計画を遂行し、進捗状況を把握し、逐次見直しを行っています。また各学科・各セクションごとの事業計画を作成し、事業計画発表会を実施しています。			
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4		意思決定システムは確立されているが、さらに教職員がそれぞれスキルアップを図り、意思決定できる様底上げをしていきます。	理念・原理原則に沿った意思決定ができるよう、研修を実施しています。			
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか							
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか							
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	4		問題解決サイクル(問題発見⇒問題分析+仮説立案⇒対策立案⇒実行⇒検証)を回していることが意思決定プロセスを効果的に活用できているため学校運営が円滑に進んでいるが、個人レベルでの今後更なるスキルアップが必要です。	目標到達の運営指標を定め、会議内での運営数字チェックを定例化しているため数字からの問題発見が可能です。			
	2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	4		学校セクション毎の情報システム化、学生の情報の一元管理、その結果としての業務の効率化が推進されています。しかし、大切なのは、学生一人ひとりの情報(入学前、在籍中、卒業後)を一元管理することにより、学生への様々な支援(学費相談、就職支援等)の際に、その情報を活かし、適切な助言をし、業界就職への内定獲得や資格合格に結びつけています。	今後は学内のシステムによる業務の効率化だけではなくインターネットを利用した学生や卒業生との双方向サービスの充実が重要となります。就職情報の共有やサポート、国家試験対策など効果的、効率的なサポートシステムの構築を目指しています。			

項目	点検項目	評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			出席委員集計(平均点数) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
3 教育活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	業界の求める人材育成のため、到達目標を明確にし、教育をフローで考え、専門職業教育とキャリア教育を行っています。 入学後のオリエンテーションにおいて資格取得の必要性を説明しています。	担当教員の研修に留まらず、取得の意義や取得指導などが計画的に行われる支援体制を整備しています。	4	・卒業後を視野に入れた教育・指導が行えている。
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか					
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3	年2回開催している教育課程編成委員会での意見を集約し、又業界の講師の先生方には毎年2回講師会議を開催し、意見交換を行い、教育課程の見直しや、適切な評価システムの構築を図っています。	学生の授業理解度の把握、再確認を目的に小テストを行っています。授業の理解度を学生自身、また教員が把握すると共に学生においては復習の習慣づけやポイント整理の工夫をしています。適宜学生面談を行い、授業理解度を確認しています。 教育課程編成委員会での意見を踏まえ、授業評価方法等に反映させています。	4	
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか					
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか					
	3-9-4 授業評価を実施しているか					
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	成績評価・履修認定については学則の「学習の評価」や「試験規定」に従い、実施しており、また教育指導要領や学生便覧においても明記しており教職員・学生に周知徹底しています。保護者への周知も図っています。 成績不振の学生に対する学校のフォローも行っています。また、ゼミ祭、学園祭、卒業制作展で学生の成果を発表する場を設け、成果を把握しています。	国家資格に関わる科目もその他の科目も評価基準を遵守しています。また、明確な基準と共に学生一人ひとりに適した柔軟な対応が出来るよう、全ての学生が学科の評価基準を満たした上で進級及び卒業が出来る体制を構築しています。	4	・評価基準・修了認定基準を遵守した学校運営を行っている。
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか					
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3	国家試験対策センターと連携し、出題傾向を把握し実効のある対策講座を実施しています。資格取得のサポート体制としては平常授業のみならず国家試験対策講座を実施し、自宅学習支援や国家試験対策問題を活用できる環境を整えており、また個別面談から補講まで状況に応じて様々な取り組みを実施しています。	1年次に国家試験対策として模擬試験を数回実施、学生の学力レベルを確認し、カテゴリーに分けサポートが必要な学生には3月に特別補講を実施しました。2年次は過去問から小テストを週2回繰り返し実施し、弱点科目や弱点箇所を重点的に指導しました。	4	・小テストなどを通じて学生の授業理解度を把握することに努めており、また面談により理解状況のフィードバック・アドバイスが行える。
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか					
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	学科の到達目標を達成するために、講師がその分野のスペシャリストであり、また、同時に教員要件を満たしている事が採用条件である。講師は学園の方針、養成したい学生像を理解し、情報の共有や問題解決につなげています。 教員は、グループ主催の教職員カウンセリング研修、FD研修、マネジメント研修などに参加し、資質の向上に取り組んでいます。	講義を行う者は、その業界の現状に則した内容を教授できる事が理想である。現在実技科目の外部講師は、現場で活躍されている現役のパティシエやブーランジェ、和菓子職人、菓子店オーナーの方を中心に組織されている。	4	・指導にあたる教員の質的向上を図る努力を怠っていない。	
3-12-2 教員の資質への取り組みを行っているか						
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか						

項目	点検項目	評価		自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりの御意見	
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1				出席委員集計(平均点数) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
4 学修成果	4-13-1 就職率の向上が図られているか	3		開校以来、それぞれの学科の専門領域の就職・内定100%のために就職支援・指導を徹底し教職員一丸となって取り組んでいます。	卒業年次を担当する教員が、早期に学生一人ひとりの進路を把握するための面談を実施しています。早期から「勤労観・職業観」を養うため、1年生後期から指導並びに対策講座を実施しています。また校内でも就職説明会を積極的に行っています。就職率の向上には、外部施設での実習やインターンシップが有効と考え実施しています。	3.7		・96%の就職率(2017年度)は100%に至っていないが、非常に高い水準にある。	
	4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	3		国家試験に対しては常に合格率100%を目標としています。免許取得に対する必要性を入学後のオリエンテーションで説明しています。	資格試験100%合格のための仕組み作りに全力を注いでいます。また、更なる合格率向上を目標として、毎年国家試験受験対策に関する総括を実施しています。また非常勤講師と連携し、担当科目の出題傾向等共有しています。	3.6		・98%の合格率(2017年度)は、目標100%に至っていないがこれも非常に高い水準にある(過去2年間より向上している) ・合格率を自己点検に明記いただき、評価につなげたいと思います。	
	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	3		卒業生の活躍は就職先からの評価や役職への登用が増えてきていること、実習指導の出来る卒業生の増加などから評価できると考えます。今後、卒業生のみならず在校生においてもさらなる活躍が期待できる場を作り、広げていく取り組みが必要と考えます。	兵庫県洋菓子協会や生菓子協会、製パン業界の方々と連携を図り、業界の求める人材育成に努めています。卒業生に対し同窓会活動として、年1回卒業研修会を実施しています。又各種コンテストで入賞する卒業生の活躍も多くなっています。	3.7			
5 学生支援	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4		学生支援の中でも就職支援に関しては就職率からも成功している部分と思われます。今後は面接指導の際に業界からの意見(求められる人材像)を今以上に反映できるような方策を検討し、学生に伝えていける体制を構築します。WEBを用いた就職活動への対応の強化をすすめていきます。	学生の就職支援として企業説明会を学内で実施しました。洋菓子協会主催の合同説明会等積極的に参加しました。	4			
	5-17-1 退学率の低減が図られているか	3		専門のカウンセラーの活用、生活習慣の指導を含めた学生支援などのバックアップ体制を整えています。	学生サポートアンケートを実施し、問題を持つ学生を早期に発見し対応することで中途退学防止へつなげています。独自のカウンセリング研修を設けており、全教職員がカウンセリングマインドを持って、学生に対応できるよう研修を受け、資格を取得しています。	4			
	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	4		メンタル面・経済的な問題・健康面などの相談を受け入れる体制を整備し、有効に機能させています。日常的には学内の専門カウンセラー(顧問)と教職員がチームとしてアプローチし、保護者との連携を密に、問題の解決にあたっています。					
	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか								
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4		学生の経済的側面の支援は、事務局による個別相談の実施によって、事前に学費相談を受けられ、資金のやり繰りをアドバイスできています。いずれも担任と連携を取り、学生の変化に気を配り注意しています。また、健康診断結果により再検査を必要と診断された場合の二次検診受診を積極的に促しています。	学費支援システム・特待生選抜制度・在校生援助奨学金など個々の学生の状況に応じたサポートを行っています。学費相談体制を強化し、各社との連携をサポートしています。	4		・就職支援・退学率の軽減を含む経済的側面の支援など、学生に対する支援体制(在校中、卒業後も)が構築されている。 ・退学率も年々下がっていることも評価できる。	
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか								
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか								
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか								
	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	4		本校のミッションである職業人教育や就職、また学生の資格取得実現のためには学校だけでなく家庭を中心とした学校外での学生動向も把握するように努め、問題解決にあたり、保護者との連携の強化を図っています。	学内での状況を一番把握しているクラス担任を中心に保護者への連絡や報告、相談を密に行える体制・雰囲気を作るために入学前の学校説明会や入学式後に学校代表、学科代表、教職員に紹介などの場を設けています。学園祭などの学内行事へ積極的に保護者が参加してくれています。	4			
	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3		現状では学校側が中心となって実施しているが、今後は同窓会の運営をより充実させ、活発にするために同窓会役員が主体となり学校側が支援する体制を整えることを目指します。卒業生は学校の財産であり卒業生との連携はますます重要です。	WEBを利用し、卒業生の近況の情報収集を行い、卒業研修の参加率向上に努めています。毎年、卒業研修会を行っており、更に充実した研修内容を企画検討していきます。	3.7			
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか									
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか									

項目	点検項目	評価	自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			出席委員集計(平均点数) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1	
6 教育環境	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備教育用具を整備しているか	4	実習においては、実際の現場で使われている設備を備えていることが不可欠です。実学教育に力を入れている本校の設備、施設はかなり高いレベルで整備されていると考えています。衛生面でも衛生委員を編成し、衛生管理に努めています。	厚生労働省指定製菓衛生師養成施設であり、手洗い設備に手指消毒剤を設置、衛生管理をしています。学生には登校時、除菌液のプログレスウォーターで除菌を習慣にしています。又実習器具、機材、実習台ほか実習終了時清掃を徹底指導しています。施設・設備は専門業者による定期点検、清掃を行なっています。教職員の衛生委員で定期的に衛生点検を実施しています。	4	・教育に必要な施設、設備が完備されており、また卒後を視野に入れた学外実習、インターンシップ、海外研修等のプログラムも整備されている。
	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	授業の一貫として学外実習(店舗実習)を実施しており、実習先との打ち合わせから学生の実習前教育、報告会、評価方法に至る一連の流れをマニュアル化しており、実施体制は整備されています。また希望者を募り、海外研修を実施しており、建学の理念である「国際教育」を実践しています。	海外研修先 今年2月(昨年度)は初めてイタリア(イチフ)での海外研修を実施しました。(参加者数32名)	4	
	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	防災訓練を通して、学生への動機付けは出来ていると考えられるが、緊急時の対応も出来るように、全教職員を対象に市民救命士講習会を実施しています。	防災訓練の映像化(DVD) AEDの設置:毎月1回の定期点検を実施しています。 昨今の自然災害や地震が憂慮されており、更に体制整備を行います。	4	
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか					
7 学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	本校は、兵庫県専修学校各種学校連合会に加盟し、同協会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容を遵守しています。また過大な広告を一切廃し、必要な場合は根拠数字を記載するなど、適正に学校募集が出来るように配慮しています。 広報・告知に関しては、各種媒体、入学案内、説明会への参加やホームページを活用して学校告知を実施し、教育内容等を正しく知ってもらうように努めています。	説明会への参加は、複数回参加を促し、疑問がきちんと解消できるよう仕組みを構築しています。また、早期出願者に対し、出願時のモチベーションを入学時まで維持できるよう引き続き「オープンキャンパス」への参加を促しています。 オープンキャンパスは、入学前教育として位置づけ入学前もスムーズな学生生活となること又業界を理解してもらうことも目的としています。	4	・情報提供発信含め適切に運用されている。
	7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか					
	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	募集要項で明記した入学選考方法通り選考をしています。各回の選考に関しては、スケジュールを募集要項に明示し、決められた日程に実施しています。また、選考終了後は選考会議により合否を確定します。面談結果、書類内容、選考試験が実施されている場合、その結果を踏まえ、将来製菓製パン業界で働くことに適正があるかを総合的に判断しています。 選考会議の議事録を作成し適切に実施しています。	アドミッションポリシーに基づき、将来の希望分野への適正をきちんと見極めるため、面談を重視しています。結果として学力のみにとらわれない、モチベーションの高い学生確保に役立っています。 また、AO入試を導入し、学力に捉われず、キャリア教育の一環として、よりやる気を重視した学生確保にチャレンジしています。 高等学校との連携を密にし、AOエントリー時担任への報告を促しています。		
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか					
	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	毎年、各学科において教科書、教材の見直しを行っており、諸費用の無駄な支出がないかチェックしています。 入学辞退者に対して授業料等について募集要項にも記載のとおり適正な取扱いを行っています。	入学以前の募集要項上において、事前に年間必要額を明示しているため、保護者に関しては年間支出計画が立てやすいです。 また、高等学校在学者に対しても、日本学生支援機構の予約採用のアナウンスや教育ローンの案内をするなど、学費負担者の立場にたったのアドバイスを実施しています。		
	7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について適正な取扱いを行っているか					

項目	点検項目	評価		自己点検	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりの御意見
		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1				出席委員集計(平均点数) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1		
8 財務	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4		厳しいチェック及び評価が行われ、中長期的に財務基盤は安定し、本校の学校運営も安定していると考えています。5か年計画に基づいた収支計画は中長期的な視点で物事を考えることができ、財務基盤の安定につながっています。	指揮命令の系統が明確になっており、内部承認体制が確立されています。	4		
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか							
	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4		5年を見越した収支計画を作成しているが、学校、学園本部、理事会・評議員会でチェックするため現実に即した予算編成になっています。	予算→四半期予算実績対比→決算という流れの中で、収支計画が実現可能なものとなり、財務基盤の強化につながっている点が特徴として挙げられます。			
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか							
	8-30-1 私立学校法及び寄付行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4		監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成しています。監査を有効に実施してもらうために、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めています。	私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けており、適正な決算の作成とその信頼性の確保に努めています。			
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	4		財務情報公開の体制整備はできている。学園の特徴は、法改正の変化に迅速に対応できる機動力である。今後ともどんな法改正にも迅速に対応していきます。	当法人の財務情報公開に関しては、常務理事が統括し、事務局次長が責任者として担当する。また、事務担当者を置いて現場対応を行っています。 ＜公開書類＞ 1. 財産目録2. 貸借対照表3. 収支決算書4. 事業報告書5. 監査報告書				
9 法令等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4		法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは、整備されている。カリキュラムや教員要件はしっかりチェックし、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する研修を実施しています。	監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっています。	4		
	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4		個人情報保護の体制はできています。個人情報保護の教職員への啓蒙として、年2回全教職員に対して研修を行っています。	外部機関の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、ホームページ上に明記しています。			
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4		自己評価・自己点検の結果、教育情報をホームページに掲載しています。	下記HPアドレスにて情報公開しています。 http://www.kobeseika.ac.jp/info/			
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか							
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか							
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか							
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか								
10 社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3		職業教育を通して社会に貢献することが我々の使命であるが、卒業生や在校生本人のみならず、彼らを取り巻く社会環境や業界、さらには学校が存在する地域の信頼を得ながら、その役割を果たしています。またキャリア教育の一環として挨拶の仕方、服装、髪型、言葉遣い等の指導を受け、ボランティアに参加しています。	教育プログラムの一環として社会貢献・地域貢献に取り組んでいくシステムづくりを検討しています。 また、社会福祉法人の障害者就労支援活動(スイーツコンソーシアム)に協力し、学生スタッフとしてボランティアに参加しています。	3.9		
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか							
	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか							